

第2段階 評価基準表(プレゼンテーション)

評価項目	評価の着眼点	
	判断基準	
(1) 類似事業の実績	類似事業の実績	本事業に類似した事業実績がある。
(2) 実施体制	実施体制	類似事業の経験があるスタッフの従事などチーム、組織体制、進行管理、危機管理等が明確で充実し、質の高い業務の実施が見込める。
(3) 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報、統計情報、空き店舗所有者情報等の管理体制が充実しているか。
(4) 業務内容	調査設計・回収率向上	的確な回答の引き出し、回収率向上に繋がるような調査票作成上の工夫など、調査精度が高まることが期待できる提案内容となっている。
	空き店舗調査	現地確認、所在地特定、登記簿情報確認、オーナー調査の実現性が高い。
	分析・報告書作成	業種別・地域別分析、自由記述分析、政策検討に資する示唆が的確である。 報告書等のアウトプットイメージの質が高い。
	スケジュール・独自提案	実施可能なスケジュール提案が十分にできている。 独自提案に有効性がある。
	業務理解度	本業務の目的、条件、課題への理解が十分である。
(4) 説得力、熱意・意欲、応答力	プレゼンテーション・ヒアリング内容	企画提案の説明の論理性・的確性、説明から熱意・意欲や自信が感じられる。
	取組姿勢	質疑応答の対応等から、理解力や区との協調性や業務遂行への姿勢が感じられる。
(6) 価格評価	見積書金額の妥当性	見積額、内訳、業務内容との整合性

第二段階評価の評価点が同点の場合は見積価格が低い参加者を受託候補者として選定する。